

長瀬産業株式会社



- 所在地：東京都千代田区
- 従業員：連結 7,113名
- 会社設立年：1832年
- 事業内容：卸売業

<https://www.nagase.co.jp/>

プロジェクト名

- ベトナムで国際標準に対応した温室効果ガス排出量報告オンラインシステムの構築実証事業

現地企業や政府との協力・連携

- 現地パートナー：Vietnam technology Solutions JSC (VETS)
- 協力・連携の内容：同社が現在構築中の「GHG排出量報告オンラインシステム」にzeroboardを連携させることで、国際基準に基づいた排出量の測定・報告・検証ができる体制を構築



現地の経済・社会課題

- ベトナムの温室効果ガス(GHG)排出量削減目標と課題
ベトナムは2021年にカーボンニュートラルを宣言。GHG削減の必要があるが、その基盤として、国際基準に基づいたGHGの算定報告体制の構築が急務。
- 日本のODA支援と課題
ODA支援で天然資源環境省(MONRE)や他の政府組織に①GHG削減施策、②GHG排出量の測定・報告・検証(MRV)実施、③民間企業への教育などを支援。特に②においてはVETS社が開発したエネルギー消費量報告制度システム(DataEnergy.VN)に連動するオンライン報告システムを構築しているが、各セクターの需要家から国際基準に基づくGHG排出量が報告されるかが不透明。

実証内容

- 日本の自治体向けの導入実績を参考に、EEGSへも対応、且つISOなどの国際基準に準じたzeroboardの排出量算定機能をベトナム政府が必要とする形にアレンジし、VETS社のGHG報告オンラインシステムに連携、国際基準のGHG排出量MRVシステムの構築を目指す。

期待される裨益効果

- 排出量測定の算定対象の拡大への対応
現在の政令(6/2022 ND-CP)でGHG排出量の算定・報告対象は、約2,000の組織かつ直接排出のScope1のみ。将来、算定対象及び、電力等からの間接排出(Scope2)と川上・川下を含むScope3へと拡大が予想される。またベトナム内の企業が製品、組織単位のGHG排出量開示を取引先等から要請される動きがある。これらに対応可能なクラウドサービス・zeroboardを活用し、ベトナム政府および各組織は将来の規制も含め効率的に対応し、GHG排出量をより正確に把握、効果的かつ広範な削減施策が可能になると見込まれる。